

こんにちはは町会です

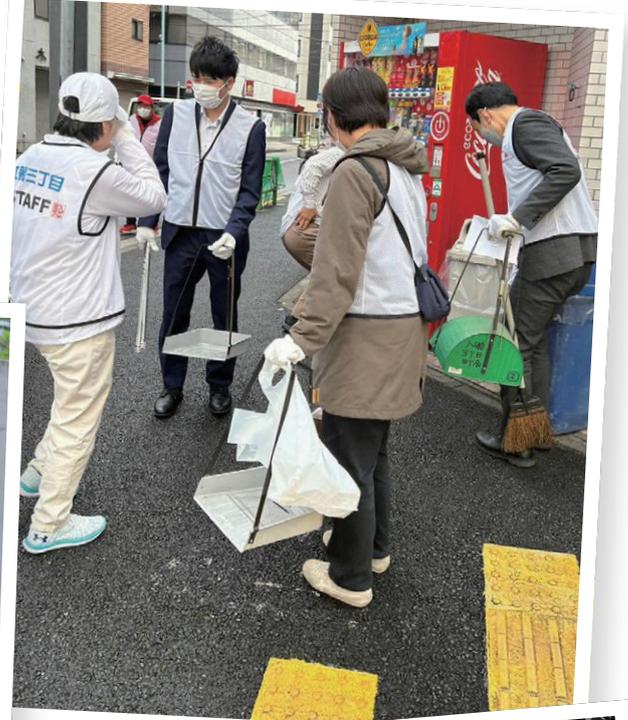
Nice Town Good People

私たちが暮らす中央区は、定住人口が順調に増え続け、まちはにぎわいと活気にあふれています。170を超える町会・自治会があり、祭りや町内の清掃、住人同士の親睦を深めるイベントの開催など、住みよい地域社会をつくるための活動は様々。

「こんにちはは町会です」は、そんな町会・自治会の活動を担う方々のまちへの思いをお伝えします。

今回ご紹介する町会・自治会

- 入船三丁目町会
- 浜三西部町会
- コーシャタワー佃自治会



「こんにちはは町会です」の
バックナンバーはこちら▶



町会・自治会についてのお問合せは…

京橋地域 区民部地域振興課 TEL：03-3546-5337
日本橋地域 日本橋特別出張所 TEL：03-3666-4251
月島地域 月島特別出張所 TEL：03-3531-1151



新しい発想でさらに活性化する「まち」へ

入船三丁目町会 会長 吉田昇弘よしだ のぶひろさん 副会長 檜垣健一ひがき けんいちさん 役員 武井次男たけい つぎおさん 役員 皆川省一みながわ せいいちさん 役員 三平洵みひら じゅんさん

「入船三丁目に住んでよかった、入船三丁目で働いてよかった、と思ってもらえるまちにするために新しい発想でどんどんチャレンジします」と話す入船三丁目町会の皆さん。



(写真左から) 皆川さん、檜垣副会長、吉田会長、武井さん、三平さん



入船三丁目の名称が入ったビブスを着用

三丁目町会で地震車の派遣をお願いしようということになり、その場で話がまとまりました(役員・三平さん)。これをきっかけに、企画、検討、許可取りと進展。地震車体験が町会行事として11月9日(木)(119の日)に実施される運びとなりました。

声を聞いてよりよいまちづくりに活かす

町会では公式WEBサイトや公式LINEも充実。「できたらいいこと」「工夫してほしいこと」などの声を聞き、まちづくりに活かしています。「長く住んでいると全てがこのまちの魅力に思えます。新しく加わった方には、新富町、八丁堀、築地の三駅が近くにあり、交通の便に恵まれている点も魅力と感ぜられるのかもしれない。伝統と新しさ、それが一体となってこのまちが活性化するように今後もお役に立てたらと思います」と吉田会長。入船三丁目町会のチャレンジはこれからも続きます。

クリーンデーを企業や事務所と連携

「入船三丁目に生まれ、育ち、傘寿を過ぎましたが、まちの様相も大きく変わりました。マンションが建ち、会社などの法人が増え、町会として新たな関わりが求められるようになりました」と語るのは入船三丁目町会の吉田会長。住む人にも働く人にもつながりが持てる地域活動を探り続けてきたといいます。

「歩道や植え込みなどにあるゴミや空き缶を清掃するクリーンデー

は、中央区主催で毎年、「こみゼロの日(5月30日)」に近い日曜日に実施しています。それとは別の試みとして、企業や事業所が

参加しやすいように『平日の町会クリーンデー』を企画しました。

当日は町内美化に貢献している企業に感謝状が贈られ、懇親会も開催されました。「懇親会の席で、社員の防災訓練に地震車を呼ぼうと企画した会社があることを知りました。しかしそのときは実現には至らなかったようです。それならば入船



清掃後に開催された懇親会



ゴミ出し案内の看板を設置



▲入船三丁目町会WEBサイト

所属する町会・自治会を調べる

中央区には、一流ブランド店や老舗、食のまちがある「京橋地域」、金融街や老舗百貨店などが連なる歴史ある「日本橋地域」、超高層マンションが立ち並び未来都市と下町情緒にあふれた路地が混在する「月島地域」の3つの地域

があります。そして、その中には143の町会と34の自治会が区域を分けて活動しています。お住いのご住所が所属する町会・自治会が分からないときは、「町会・自治会MAP」で確認してみてください。



▲町会・自治会MAP



このまちに住んでよかったと思えるまちづくりを目指して

何代も暮らしている人と新たに暮らし始める人と一緒にまちを盛り上げていき
たいと話す浜三西部町会の皆さん。



高橋会長

武井副会長

青年部 竹岡副部長

転換期を迎えながらも協力して、 ささえあう

浜三西部町会は、浜町神社を中心に昔ながらの景観を残しながらも高層ビルが立ち並ぶ地域にあります。町会の皆さんとお会いしたのは、トルナーレ日本橋浜町。様々な機能を備えた複合ビルで、地域のランドマークとして親しまれています。

町会の活動における大きなイベントの一つは神田祭。2023年5月13日、14日に大人神輿、子ども神輿、山車が町内を巡行。14日は10町会の神



熱気にあふれた神田祭の大人神輿、『ソイヤ』『セイ』のかけ声が響く

輿が明治座前に集結しました。「コロナ禍を経て4年ぶりの開催となり、新鮮な気持ちで迎えることができました。会長になって初めての神田祭で、その間に町会の先輩方が引退されるなど世代交代がありました。多くの

浜三西部町会 会長 高橋秀夫さん 副会長 武井重敏さん 青年部 副部長 竹岡和哉さん

方々の協力のおかげで無事に終わることができました」と振り返る高橋会長。

大人神輿には町会員だけでなく企業の方々も担ぎ手として参加。ベテランの先輩からの熱心な指導もあり『ソイヤ』『セイ』というかけ声が響き渡りました。町内巡行時の休憩所では、企業や近所の方から食事や飲み物が振る舞われます。こういった場所が多くあるのも浜三西部町会の特徴で、行った先々でコミュニケーションが生まれました。「山車は、お子さんの参加が少ない時期もありましたが、今はお子さんも増え、今回は40人くらいが参加されました。もちろん、親御さんも付いて回るので大所帯でした」と笑顔で話す武井副会長。また、担ぎ手の人たちにお弁当を配ったり、子どもたちにお菓子を渡したりと、大活躍だったのが婦人部の皆さんでした。

楽しみながら精力的に活動に取り組む

町会は様々な活動に力を注いでおり、3月にはPTAの協力のもと、寄席体験会を有馬小学校で開催。「落語や寄席の文化を伝えていく絶好の機会となり、子どもたちが生でその魅力に触れることができました」と竹岡副部長。子どもたちの反応も良く、会場は一体と盛り上がりました。



子どもから大人まで大いに盛り上がった寄席体験会の様子

7月は盆踊りと納涼大会がトルナーレ日本橋浜町の広場で行われ、盆踊りの日は2段式の立派なやぐらが建ちました。「やぐらは浜町神社を建てた宮大工さんが手掛けたもので、その大きさは大人12人が踊れるほどであり、町会の人たちだけで組み立てます」と誇らしげな高橋会長。納涼大会は町会員の皆さんのにぎやかな交流の場となりました。



やぐらの迫力と幻想的な提灯の明かりに魅了された盆踊り



にぎやかな交流の場となった納涼大会

「このまちに住んでいてよかったなと思えるような町会にしたい」と語るのは高橋会長。歴代の会長たちからの言葉であり、町会の目標です。「まちの方々に楽しんでもらうにはまずは自分たちが楽しむことだと考えています」と竹岡副部長。武井副会長は「浜町には人を受け入れてくれる懐の深さがあり、顔を合わせれば、声をかけ合う街です」と話します。「これからも楽しみながら町会の活動に取り組んでいきたい」と語る皆さんの笑顔は誇りに満ちていました。

インターネットでまちの情報を知る

中央区ホームページでは、町会・自治会の区域や主な活動等を紹介している他、町会・自治会に関する情報を発信するためのSNS(中央区町会・自治会ネット)の情報も見ることができます。また、独自でSNSを立ち上げ、まちのイベント情報を発信している町会・自治会もあります。ぜひ、SNSで町会名・自治会を検索してみてください。



中央区ホームページ内町会・自治会ページ



超高層マンションに息づく下町の長屋精神

「子どもを中心にした地域のつながりは、まちづくりにはとても大事なこと」と話す生田目会長。



生田目会長

イベントが人と人をつなげる

隅田川と晴海運河が分岐する中州(佃二丁目)に立つ37階建てのマンション、コーシャタワー佃。自治会の生田目会長は、窓外に広がる東京の景色を見つめ「ここが建った30年ほど前と比べて、中央区の人口は10万人増えました。ただ、人が増えたから『いいまち』なのではなく、そこにコミュニティができて『いいまち』になるんです」と話します。

現在入居している400数世帯のうち、子育て世代が4割、長年住むシニア世代が3割、その他が3割ほど。ともすると人のつながりが生まれにくい超高層マンションで、参加率が9割を超えるコーシャタワー佃自治会が

親子ふれあいサイクルフェアの様子

力を入れるのは各世代が楽しめるイベント。その一つが3月に近隣の佃パーシティ自治会などと連携して開催した「親子ふれあいサイクルフェア&ワークショップ」です。当日はあいにくの雨で急



ワークショップに子どもたちも夢中!



近隣のマンション自治会とも協力

きよマンション内の吹き抜け部分にある広場「コミュニティホール」での開催となりましたが、質のよいサイクル品や地域のお店が提供する飲食品などを求めておよそ2000人が来場。「毎月やってほしい!」との声が挙がるほど大盛況に。近隣企業や佃児童館などの協力により行われたワークショップでは「鹿革細工」「エコバッグ作り」などに子どもたちが目を輝かせました。イベント成功の秘訣は自主性にあるといいます。「今回、出店者が全部自分たちで準備をして、最後の掃除まできれいにしていきました。主体的にみんなが動いて、自然に交流も生まれるというのがいいですね」と話す生田目会長。マンション内では他にもクリスマスコン



年代・国籍問わず人気の餅つき大会

サートや餅つき大会などのイベントを実施。餅つき大会は外国人の入居者にも好評で、異文化交流の場にもなっています。

マンション全体が一つの「まち」に

コーシャタワー佃自治会の運営で特徴的なのは、各階ごとに「フロア幹事」を選任していること。各幹事が担当階の自治会費を集金しています。「幹事が10〜12世帯を回るだけならば負担も少ないし、高齢者の見守りなど各階のつながりも生まれます」。まるでマンション全体が一つの町内のように見えてきます。

「佃には高層マンションもあれば昔ながらの低層の住宅もあります。人の顔が見える。まちの構造が防犯にもつながっていると思います。泥棒が違和感を持つような(笑)。安全で交通の便もよく、景色もいい。集まれる場所があってイベントもある。だからみんなここが好きでここにいたくなるんです」と生田目会長は笑顔でお話しされます。

かつて関東大震災でも焼失しなかった佃島。それは対岸から飛んで来る火の粉を、長屋の住民が団結して消火したからだといわれています。そんな長屋の精神がコーシャタワー佃自治会には今も息づいているようです。



トリオン弦楽四重奏団によるクリスマスコンサート

コーシャタワー佃自治会 会長 生田目裕さん
なまためひろし

まちかどでまちの情報を知る

まちかどの掲示板には、区政情報だけでなく、みこしの担ぎ手募集や餅つき大会の日などに、四季折々の情報があふれています。ちょっと立ち止まってみると、あなたがときめく出会いがあるかも。令和元年、台風15号による千葉県の大規模停電の際に通信障害が発生し、インターネットなどを利用した連絡・情報取得手段が使用できない中、まちの掲示板がオフラインでも活用できる連絡手段として活躍した事例もあります。

大規模停電の際に通信障害が発生し、インターネットなどを利用した連絡・情報取得手段が使用できない中、まちの掲示板がオフラインでも活用できる連絡手段として活躍した事例もあります。

